

近年、胆石症の患者さんが増えており、成人の1割程度に胆石を認めます。食生活の欧米化が原因と言われています。

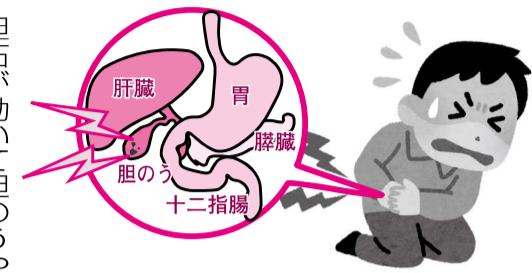
胆石症の患者増加傾向

バランスのとれた食事を



なります。手術方法は胆のう摘出です。人は胆のうがなくても特に不自由がありません。今は腹腔鏡手術が多く、3泊4日くらいの入院で済みます。手術以外の方法では、胆石を溶かすウルソという薬がありますが、溶けたタイプの石は1割しかありません。体外衝撃波で砕く治療も昔は

胆管の細い部分にはまる、腹痛や発熱、時には黄疸が出ます。そのため、胆石による痛みは食後に起きます。胆石痛の特徴は、みぞおちから右脇腹にかけての痛みです。時に、右肩痛や吐き気を伴うこともあります。一生で胆石が何か症状を起こす確率は、約5割とされています。



健康経営優良企業表彰を受賞

健康情報提供や職員交流支援など評価

広島県では、従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」を実践する企業を支援しており、毎年、「健康経営」に積極的に取り組み、他の模範となるべき優れた成果をあげた企業を表彰していく。

度健康経営優良企業

1月26日に令和5年度健康経営優良企業

・健診結果の分析能

・肝機能有所見者の

・重点課題とし能

・能にに関する健康情

・提

・「ミニユーチーシ

る手立てはあります。バランスのとれた食事を摂り、脂っこいものはできるだけ控えましょう。特に、すでに胆石のある人は症状を誘発しやすいので注意が必要です。

行われていましたが、今ではほとんど行われていません。結局、胆石のある人は症状があれば早めに病院に行くことです。そして痛みが治まつてから、腹腔鏡手術をしてもらうのが良いでしょう。

胆石を予防する確実な方法は、残念ながらありません。しかし、

が開催され、当会を含め3団体が健康経営優良企業として表彰されました。

企業表彰を受賞 や職員交流支援など評価

環保協

腸内環境を整える 朝食から意識

る発酵性食物繊維 して多種類を摂取

- ・懇談会の費用を助成
- ・女性特有の健康課題に対する取り組み（女性セミナー・や婦人科検診の他機関受診）の実施

受賞など評価

腸内環境を整える発酵性食物繊維 朝食から意識して多種類を摂取

発酵性食物繊維をご存じですか。食物繊維は人間の消化酵素では分解できない成分のことです。水に溶ける水溶性食物繊維と、溶けない不溶性食物繊維に分類されることが多かったのですが、近年腸内での発酵のしやすさによる分類も注目されています。

腸内で発酵しやすい発酵性食物繊維は、腸内を弱酸性に保ち、悪玉菌の増殖を抑えます。また、善玉菌エサとなって発酵することで、善玉菌の増殖をサポートします。腸内で発酵する際に善玉菌が作り出す短鎖脂肪酸には、肥満予防、糖代謝・脂質代謝改善、免疫機能の調整、精神安定などの効果があります。そのため、食物繊維は水に溶けるかどうかなどの物性よりも「いかに発酵されるか」が大切と考えられるようになってきました。

発酵性食物繊維は、その種類によって腸内で発酵する場所や発酵までの時間が異なります。水溶性のものは、主に腸の入り口から中央あたりで食後4～10時間程度で、不溶性のものとレジスタンススターチは、腸の奥で16時間以上たって発酵するとされています。常に腸内環境を整えるためには、いろいろな種類の発酵性食物繊維を摂取する必要があります。特に、朝食での摂取は効果が高いので意識して摂り、腸内環境を整えましょう。

発酵性食物繊維の上手な摂り方

- ・白米をもち麦ご飯や七分づき米、玄米、雑穀にかえる
 - ・冷ご飯はあえて温めなおさない（無理のない範囲で）
 - ・白パンを全粒粉パンにかえる
 - ・穀物、イモ類、豆類、海藻、きのこ、果物など植物性の食品をとる
 - ・ヨーグルトやサラダに小麦ふすまシリアルを加える
 - ・オートミールを利用する
 - ・洋菓子よりおはぎ、大福など和菓子を選ぶ

